



## トンネル専門協 法定福利費を明示した「標準見積書」の作成について

### 1. 法定福利費を明示した標準見積書作成の必要性について

皆様もご存知のように、最近の建設業界とくに専門工事業界では、優秀な若手人材の確保が困難となっており、又、作業員の高齢化も進んできております。建設業が持続的な発展をし、必要な人材の確保・育成及び技術・技能の継承を行うためには、まず第1に働く環境を整え、若い人の入職をしやすくし、夢と希望の持てる業界としなければなりません。

その1つは、近年負のスパイラルに陥り以前に比べ安くなり過ぎた労務賃金を他産業（製造業）と同等以上の水準にまで引き上げる事です。又、雇用、健康、厚生年金保険に加入することも最低限必要となります。

一方、事業者間の公平で健全な競争環境を構築するためにも、全ての事業者及び現場で働く作業員まで社会保険に加入することが必要不可欠です。

こうした取組を確実に進めるためには、社会保険等に加入するための原資となる法定福利費が、発注者から元請企業、専門工事業者へ、更に個々の作業員まで適正に支払われることが肝要です。専門工事業者から考えますと、まず、見積書における労務費は（法定福利費を含んだ）適正な賃金でなければなりません。そして、適正な利潤が得られる適正な工事価格での受注（契約）が必要です。

このためには、見積書に（法定福利費を含んだ）適正な労務賃金の8時間当りの賃金、及び残業時間等に対する適正な割増を含んだ賃金が明示にされており、そしてこれらを用いて計算された総労務費に対して適正な社会保険料率で計算された法定福利費が明示された見積書となっておらなければなりません。これらのことは既に会員の皆様におかれてはなされたことですが、今回作成した標準見積書では下記に記載しておりますが、法定福利費をよりわかりやすい位置に明示することにしております。

当協会では、国土交通省の「標準見積書の活用等による法定福利費の確保の推進」や、「法定福利費の確保を通じた社会保険等未加入対策の徹底等」についての通達を受け、将来の人材確保、特に優秀な若手人材の確保・育成が最重要事項であると位置付け、技術・情報委員会において「標準見積書」を作成致しました。

なお、会員皆様の見積書を全てこの標準見積書の様式に統一することは、これまでの各社の見積方式、表示方法があり、また、元請の書式指導もありますので致しませんが、上記目的を達成するためにも最低限 下記の様式だけは統一したいと考えておりますのでご協力の程お願い申し上げます。

### 記

#### 1. 法定福利費の明示箇所

- ① 別紙 標準見積書表紙（1ページ）の工事価格（一般管理費含む）の一段下の欄に記載する。
- ② 工種別集計表（4ページ）は合計（最下段）の1段上に記載する。  
なお、現場管理費の摘要欄には、「法定福利費含まず」を記載する。
- ③ 工種別内訳書（7ページ）は 工種別集計表と同様に記載する。

#### 2. 全体書式について

- ① 各社の書式があるので、全体書式の統一は行わない。従来各社で使用していた書式を今後も使用する。但し、法定福利費は上記1. の箇所か見積金額の内訳が記載された最初のページに別枠明示し、下記の項目も明確に表示するものとする。
  - a) 労務単価表は見積書のはじめの部分（この標準見積書では3ページとしている）に8時間基本単価と時間外及び両番（2方の場合）平均単価を明示する。3交代の場合も同様明示する。
  - b) 法定福利費の算出根拠となる 全体労務費（社員給与手当含む）の計算と結果が分るように記載する。（この標準見積書（案）では7ページ 労務費集計欄）  
計算方法、記載箇所は各社書式による。この金額が法定福利内訳書に記載され、この金額に各社会保険料率を乗じ法定福利費を算出する。（9ページ）
- ② 現場管理費の内訳項目も各社様式、項目の違いがあっても問題はない。項目落ちが無いようにする。

#### 3. 法定福利費明示の標準見積書書式の活用について

- ① この書式は会員企業が平成25年1月から提出する見積書に使用して頂くよう既にお願ひしております。  
以上

# 見 積 書

平成 25年 6月 20日

A・B・C建設共同企業体 御中

トンネル専門協株式会社

代表取締役社長

東京都港区西新橋 1-2-1

TEL 03-5251-4150

FAX 03-3591-3550

工事件名 Xトンネル工事

工事価格	¥	$f$
法定福利費	¥	$g$
見積総金額	¥	$h = f + g$
消費税 5%	¥	$i = h \times 0.05$
合計		$j = h + i$

標記工事については、工事仕様書、設計書、図面その他の関係書類の定めるところに従って上記の通り御見積申上げます。

尚、内訳は別添の通りであります。

Xトンネル工事

見積条件書

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.
- 11.
- 12.
- 13.
- 14.
15. 見積書に記載なきもの及び見積条件(工期、工種、数量等)の変更は、別途協議願います。

以上

単 価 表

労務単価

資材単価

項目	基本単価	+2h 1.3125	両番 1.4063
掘削工	トンネル世話役	0	0
	トンネル特殊工	0	0
	トンネル作業員	0	0
	プラント係	0	0
	火薬係	0	0
インバート工	トンネル世話役	0	0
	トンネル特殊工	0	0
	トンネル作業員	0	0
覆工	世話役	0	
	コンクリート工	0	
	トンネル作業員	0	
埋戻工			
防水工	トンネル世話役	0	
	トンネル作業員	0	
中央排水	トンネル世話役	0	
	トンネル作業員	0	
仮設工	トンネル世話役	0	
	トンネル特殊工	0	
明り工	世話役		
	普通作業員		
	運転工		
共通労務	機電工		円/月
	鍛冶工		円/月
	後向き		円/月

工種	資材名	仕様	単位	単価
掘削工	爆薬	含水爆薬	kg	
	雷管		ヶ	
吹付工	セメント	普通ポルトランド	t	
	砂		m <sup>3</sup>	
	砂利		m <sup>3</sup>	
	急結剤		kg	
	粉塵低減剤	フライアッシュ	kg	
ロックボルト工	ロックボルト	117.7KN L=3m	本	
	"	177KN L=6m	本	
	"	177KN L=4m	本	
	ワッパイル	D25 3m	本	
	ドライモルタル		kg	
	ロックボルトカバー		ヶ	
金網工	金網	Φ5*150*150	m <sup>2</sup>	
	止め金具	0.56kg/本 × 80円/k	本	
防水工	防水シート	0.8mm緩衝材0.3mm	m <sup>2</sup>	
	ロックボルトキャップ		ヶ	
	器具工具		m <sup>2</sup>	
覆工	生コンクリート	24-15-20BB	m <sup>3</sup>	
	モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	
	雑矢板		m <sup>3</sup>	
	剥離剤		リット	
	レール付属品		m	
	電用品		m <sup>3</sup>	
	器具工具		m <sup>3</sup>	
鉄筋工	鉄筋	SD345 D13	t	
	鉄筋	SD345 D16~D25	t	
	結束線		Kg	
	吊金具		本	
	器具工具		式	
インバート工	コンパネ		枚	
	ハタ角		本	
	電用品		m <sup>3</sup>	
埋戻工	器具工具		m <sup>3</sup>	
	振動ローラー		日	
	油脂・燃料		h	
坑口工	雑材		%	
	キーストプレート	t=1.2	Kg	
	継ぎ材	L-50×50×4	Kg	
	やらず	H-200	Kg	
	土嚢		袋	
排水工	雑材		%	
	フィルター材	20~30	m <sup>3</sup>	
	高密度ポリエチレン管	Φ300 有孔管5m	本	
	高密度ポリエチレン管	Φ300 無孔管5m	本	
	高密度ポリエチレン管	Φ150 有孔管5m	本	
	高密度ポリエチレン管	Φ100 無孔管5m	本	
	塩ビ管	VPΦ100 4m	本	
ソケット	VPΦ100	ヶ		
コンクリート工	裏面フィルター	Φ30-3本	m	
	生コンクリート	24-8-25	m <sup>3</sup>	
	生コンクリート(インバート)	18-8-40	m <sup>3</sup>	
	生コンクリート	18-8-40	m <sup>3</sup>	
支保工	キャンバー		個	

資材単価

工種	資材名	仕様	単位	単価
掘削・穿孔	ビット		本	
	ロッド		本	
	スリーブ		本	
	シャンクロッド		本	
	ブレーカーチゼル	1300kg	本	
	バケツティース(ツメ)		本	
	ヘッダー		個	
安全保護具	保安帽		個	
	反射チョッキ		着	
	電動ファン式防塵マスク		個	
	//フィルター		枚	
	プロテクター		着	
	安全帯		個	
	保護メガネ、耳栓		個	
	安全長靴		足	
	防振手袋	皮製	双	
その他	化粧型枠	自然石タイプ	m <sup>2</sup>	
	軽油		L	

## 工 種 別 集 計

番号	区 分	金 額	摘 要	頁
(Ⅰ)	直接工事費			
1	継目工・コンクリート・型枠・鉄筋	a1		
2	トンネル掘削	a2		
3	吹付コンクリート工	a3		
4	ロックホルト工	a4		
5	ずり処理工・インバート埋戻工	a5		
6	覆工防水工・裏面排水工	a6		
7	路盤排水工	a7		
8	インバート型枠・坑口付工・その他	a8		
	小計	a		
(Ⅱ)	仮設工事費			
9	給排水設備工	b1		
10	送風管設置・撤去工	b2		
11	坑内安全通路設置・撤去工	b3		
12	セトル組立・解体・移動	b4		
13	安全設備・管理費	b5		
	小計	b		
(Ⅲ)	現場管理費	c	法定福利費含まず	
(Ⅳ)	一般管理費	d		
	小計	e = c + d		
(Ⅴ)	工事価格 計	f = a+b+e		
(Ⅵ)	法定福利費	g		
	合計	h = f+g		

	工種	仕様	数量	単位	単価	金額	労務費		材料費		機械費		経費		単価	金額
							単価	金額	単価	金額	単価	金額	単価	金額		
(I)	直接工事費															
1	継目工	I型	*	m		*		*		*		*		*		
	コンクリート	A1-3 明巻き部	*	m <sup>3</sup>		*		*		*		*		*		
	コンクリート	C1-1 (T) 避難連絡坑舗装	*	m <sup>3</sup>		*		*		*		*		*		
	コンクリート	C2-1 (T) インハートコンクリート	*	m <sup>3</sup>		*		*		*		*		*		
	コンクリート	D1-1 坑口置換えコンクリート	*	m <sup>3</sup>		*		*		*		*		*		
	コンクリート	T1-1 (A) 覆工コンクリート B-a-B	*	m <sup>3</sup>		*		*		*		*		*		
	コンクリート	T1-1 (B) 覆工コンクリート C I-a-B	*	m <sup>3</sup>		*		*		*		*		*		
	コンクリート	T1-1 (C) 覆工コンクリート C II-a-B	*	m <sup>3</sup>		*		*		*		*		*		
	コンクリート	T1-1 (D) 覆工コンクリート B-L(非常駐車帯)	*	m <sup>3</sup>		*		*		*		*		*		
	コンクリート	T1-1 (E) 覆工コンクリート B-S(避難連絡坑)	*	m <sup>3</sup>		*		*		*		*		*		
	コンクリート	T3-1 (A) 覆工コンクリート D I-a-B(標準部)	*	m <sup>3</sup>		*		*		*		*		*		
	コンクリート	T3-1 (B) 覆工コンクリート D II-a-B(標準部)	*	m <sup>3</sup>		*		*		*		*		*		
	型わく	C 明巻き部	*	m <sup>2</sup>		*		*		*		*		*		
	型わく	D 坑口置換えコンクリート	*	m <sup>2</sup>		*		*		*		*		*		
	型わく	T (A) トネル標準部	*	m <sup>2</sup>		*		*		*		*		*		
	型わく	T (B) トネル非常駐車帯	*	m <sup>2</sup>		*		*		*		*		*		
	型わく	T (C) トネル避難連絡坑	*	m <sup>2</sup>		*		*		*		*		*		
	鉄筋	A 明巻き部	*	t		*		*		*		*		*		
	鉄筋	A (T) トネル覆工部、インハート部	*	t		*		*		*		*		*		
2	トンネル掘削	B-a-B	*	m <sup>3</sup>		*		*		*		*		*		
	トンネル掘削	C I-a-B	*	m <sup>3</sup>		*		*		*		*		*		
	トンネル掘削	C II-a-B	*	m <sup>3</sup>		*		*		*		*		*		
	トンネル掘削	D I-a-B 標準部	*	m <sup>3</sup>		*		*		*		*		*		
	トンネル掘削	D I-a-B インハート部	*	m <sup>3</sup>		*		*		*		*		*		
	トンネル掘削	D III a-B 標準部	*	m <sup>3</sup>		*		*		*		*		*		
	トンネル掘削	D III a-B インハート部	*	m <sup>3</sup>		*		*		*		*		*		
	トンネル掘削	B-B-L 非常駐車帯	*	m <sup>3</sup>		*		*		*		*		*		
	トンネル掘削	B-B-S 避難連絡坑	*	m <sup>3</sup>		*		*		*		*		*		
3	吹付けコンクリート工	A (t=5cm) 本坑 B-a-B	*	m <sup>2</sup>		*		*		*		*		*		
	吹付けコンクリート工	B (t=5cm) 避難連絡坑	*	m <sup>2</sup>		*		*		*		*		*		
	吹付けコンクリート工	A (t=10cm) 本坑 C I-a-B	*	m <sup>2</sup>		*		*		*		*		*		
	吹付けコンクリート工	B (t=10cm) 本坑 C II-a-B	*	m <sup>2</sup>		*		*		*		*		*		

工種	仕様	数量	単位	単価	金額	労務費		材料費		機械費		経費		単価	金額
						単価	金額	単価	金額	単価	金額	単価	金額		
3	吹付けコンクリート工	C (t=10cr)	非常駐車帯	*	m <sup>2</sup>	*	*	*	*	*	*	*	*		
	吹付けコンクリート工	(t=15cm)	本坑 D I-a-B	*	m <sup>2</sup>	*	*	*	*	*	*	*	*		
	吹付けコンクリート工	(t=25cm)	本坑 D III a-B	*	m <sup>2</sup>	*	*	*	*	*	*	*	*		
4	ロックボルト工	A (L=3.0m)	耐力 110kN	*	本	*	*	*	*	*	*	*	*		
	ロックボルト工	B (L=3.0m)	耐力 170kN	*	本	*	*	*	*	*	*	*	*		
	ロックボルト工	B (L=4.0m)	耐力 170kN	*	本	*	*	*	*	*	*	*	*		
	ロックボルト工	C (L=3.0m)	フオアホーリング	*	本	*	*	*	*	*	*	*	*		
5	すり処理工	D	インバート埋戻し工への選搬	*	m <sup>3</sup>	*	*	*	*	*	*	*	*		
	インバート埋戻し工			*	m <sup>3</sup>	*	*	*	*	*	*	*	*		
6	覆工防水工	A (B)	無筋コンクリート区間	*	m <sup>2</sup>	*	*	*	*	*	*	*	*		
	覆工防水工	B (B)	鉄筋コンクリート区間	*	m <sup>2</sup>	*	*	*	*	*	*	*	*		
	覆工ひびわれ抑制工	B		*	m <sup>2</sup>	*	*	*	*	*	*	*	*		
	裏面排水工	A		*	m	*	*	*	*	*	*	*	*		
7	路盤排水工	中央排水工A	インバート無し区間 Φ300	*	m	*	*	*	*	*	*	*	*		
	路盤排水工	中央排水工B	インバート有り区間 Φ300	*	m	*	*	*	*	*	*	*	*		
	路盤排水工	横断排水工A	インバート無し区間 Φ100	*	m	*	*	*	*	*	*	*	*		
	路盤排水工	横断排水工B	インバート有り区間 Φ100	*	m	*	*	*	*	*	*	*	*		
	路盤排水工	横断排水工C	両面排水と橋脚排水の接続管	*	m	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
8	インバート型枠			*	m <sup>2</sup>	*	*	*	*	*	*	*	*		
	坑口取付け工			1	式	*	*	*	*	*	*	*	*		
	その他	防災設備		1	式	*	*	*	*	*	*	*	*		
(I)	小計				a		x11		x21		x31				
(II)	仮設工事費														
9	給排水設備工	給水管設置・撤去工		*	m	*	*	*	*	*	*	*	*		
		配水管設置・撤去工		*	m	*	*	*	*	*	*	*	*		
10	送風管設置・撤去	架線・風管		*	m	*	*	*	*	*	*	*	*		
11	坑内安全通路設置・撤去工			*	m	*	*	*	*	*	*	*	*		
12	セントル組立	標準部		1	式	*	*	*	*	*	*	*	*		
		駐車帯		1	式	*	*	*	*	*	*	*	*		

	工種	仕様	数量	単位	単価	金額	労務費		材料費		機械費		経費		単価	金額
							単価	金額	単価	金額	単価	金額	単価	金額		
12	セントル解体	標準部	1	式		*		*		*		*				
		駐車帯	1	式		*		*		*		*				
	セントル移動	標準部	1	式		*		*		*		*				
		駐車帯	1	式		*		*		*		*				
		シート台車組立・移動・解体		1	式		*		*		*		*			
13	安全教育費		1	式		*		*		*		*				
(II)	小計					b		x12		x22		x32				
(III)	現場管理費		1	式		c		*		*		*		*		
(IV)	一般管理費		1	式		d								*		
	小計					e = c + d		x13		x23		x33		x43		
(V)	工事価格 計					f = a + b + e		x1=x11+x12+x13		x2=x21+x22+x23		x3=x31+x32+x33		x4=x43		
(VI)	法定福利費		1	式		g										
	合計					h = f + g										



## 現場経費内訳書

勘定科目	項目	数量	単位	単価	金額	摘要
動力用水光熱費		1	式		c1	
労務管理費		1	"		c2	
社員研修費		1	"		c3	
租税公課		1	"		c4	
地代家賃		1	"		c5	
保険料		1	"		c6	社会保険除く
給料手当		1	"		c7	
福利厚生費		1	"		c8	
事務用品費		1	"		c9	
通信費		1	"		c10	
旅費・交通費		1	"		c11	
合計					c	

## 法定福利費内訳書

勘定科目	項目	数量	単位	単価	金額	摘要
法定福利費						
労務費総額     X1	健康保険料	1	式		g1	労務費総額 x1 × 51.0/1000
上記労務費には現場社員給与、賞与、	健康保険料(介護保険)	1	〃		g2	〃    5.7/1000    但し介護保険料は40歳以上が該当
現場雇員給与 等含まれます。	雇用保険料	1	〃		g3	〃    10.5/1000
	社員・作業員厚生年金保険料	1	〃		g4	〃    85.60/1000
	児童手当拠出金	1	〃		g5	〃    1.5/1000
	計				g = g1+g2+g3+g4+g5	
						但し、g1、g2の料率は全国土木建築健康保険組合の料率を使用
						g4、g5は平成25年9月現在の料率